

# 表現力を高め合おう

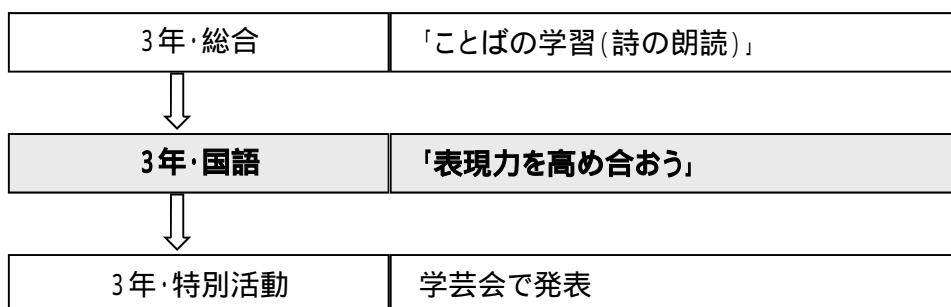
対 象 : 3年生  
 教 科 : 国語・総合・行事  
 関連する単元:  
 時間数 : 19時間

## 【単元の概要】

### 学習の背景

中学年になると、学校生活にもすっかり慣れ、友だちとの交流範囲も広がってきた。その一方で、子どもたちの友だちに対する見方がかなり固定化してきている。自分自身も、枠を広げたり外したりするのがむずかしくなっている。しかし、実際には、この時期の子どもたちの心身の成長、発達、変容は非常に大きいものである。心を解放して自己表現する手立てや喜びを経験することは、今後の人生において、大きなプラスになると考える。子どもにとって、親や教師などの大人からの励ましはもちろんうれしいものであるが、友だちからのアドバイスはさらに心強い励ましとなる。学芸会の劇をみんなの力で作りあげていくという過程で、認め合い励まし合う機会を意識的に作っていけると考え、本単元を設定した。

### 単元の位置づけ



### 単元のねらい

- ・学芸会に向けて、自分のせりふをよいものにしようとする。
- ・作品の面白さをせりふを通して味わい、表現の仕方を工夫しようとする。

## 概要

学芸会のせりふ練習から始まり、せりふをみかくことからアドバイスし合って上達する喜びを知る。それを土台にして全員で劇を作り上げていく。

## 指導計画 (全19時間扱い)

2学期 導入：7 時間 「自分の役を選ぶ～せりふをみかく」

- ・台本を読み、自分がやりたい役を考える。
- ・自分の役を選ぶ。
- ・せりふの練習をする。
- ・せりふをみかく

2学期 展開：6 時間 「立ち位置をつかむ～通しげいこをする」

- ・立ち位置をつかむ。
- ・場面ごとの練習をする。
- ・通しげいこをする。

2学期 まとめ：6 時間 「通しげいこをする～学芸会本番」

- ・通しげいこをする。
- ・自分の役になりきって、本当の出来事のように演技する。
- ・リハーサル
- ・学芸会本番

### 【環境意識を育成し実践行動へとむすびつけるために工夫した点】

友だちの意見を尊重して聞くことを大切にした。  
欠点を指摘するのではなく、良い点を見つけて伸ばすように配慮した。  
欠点については、否定するのではなく、どうしたら更に良くなるのかをアドバイスさせるようにした。

## 【単元・授業の流れと活動目標】

自分の役を選ぶ～せりふをみがく（導入7時間）		学習指導要領 の対応
〔活動目標〕 みんなで劇を作り上げようとする意欲を持つ。		
	活動内容	指導、留意点
導入 （7時間）	台本を読み、自分がやりたい役を考える。  自分の役を選ぶ。  せりふの練習をする。  せりふをみがく	ねらい： <u>台本を読んでみんなで劇を作り上げようとする意欲を持たせる。</u> ・単元の目標を知る。  ねらい： <u>友だちの台本の読み方を聞いて、よいところを見つける。</u>  ねらい： <u>声の大きさ、速さ、間の取り方に気をつける。</u>  ねらい： <u>大切な言葉を意識して、間の取り方、強弱、速さを工夫する。</u> ・友だちのよいところを見つける ・友だちのアドバイスを生かして自分のせりふをよりよいものにする。
		特別活動 P.91 総合 P.16   国語 P.51   道徳 P.50、52
立ち位置をつかむ～通しげいこをする（6時間）		
〔活動目標〕 自分の役になりきって演技する。		
	活動内容	指導、留意点
展開 （6時間）	立ち位置をつかむ。  場面ごとの練習をする。  通しげいこをする。	ねらい： <u>どこに立つのがよいか互いに考える。</u>  ねらい： <u>話の面白さが伝わるように工夫し合う。</u> ・動作を考える。  ねらい： <u>自分の役になりきって演技する。</u> ・工夫した動きやせりふをみんなに見てもらい、感想を言い合う。 ・アドバイスをもとに、演技をさらによいものにする。 ・友だちと動きを合わせる。

通しがいこをする～学芸会本番（6時間）

〔活動目標〕全員で劇を作り上げる。

まとめ  
（6時間）

活動内容	指導、留意点
<p>通しがいこをする。</p> <p>自分の役になりきって、本当の出来事のように演技する。</p> <p>リハーサル</p> <p>学芸会本番</p>	<p>ねらい：<u>自分の役になりきって演技する。</u> ・衣装、大道具、小道具、効果音使用</p> <p>ねらい：<u>演技の弱いところをみんなで直しながら練習する。</u></p> <p>ねらい：<u>本番のつもりで演技する。</u></p>

学習の効果・児童の変化について

- ・声を出すことに自信のなかった児童も、練習を重ねることにより、大きな声を出せるようになった。
- ・練習の仕方を子ども自身が工夫するようになった。
- ・友だちのよいところを見つけようとする態度や意識が育ち、よいところによく気がつくようになった。
- ・友だちに適切なアドバイスができるようになった。
- ・アドバイスし合うことで、子どもたちの人間関係がよくなり、自分達を高めようとする雰囲気の中で効果的に練習することができた。
- ・安心して発表できるので、ふだんの学習時にはあまり発言しない子も進んで発表するようになった。
- ・せりふが上手に言えたことで自信がつき、他の面でも自信をもって活動するようになった。
- ・その結果自分達で劇をつくりあげたという満足感をもちのびのびと演技することができた。